

## 【第4号議案】

### 令和3年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

#### 1 令和3年度事業計画（案）

##### **(1) 瀬戸内国際芸術祭 2022 開催へ向けた準備**

###### ① 全般

芸術祭 2022 の開催に向け、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえつつ、地域住民や関係行政機関、文化関係団体、大学、船舶事業者、旅行事業者、その他関係機関等と協議調整を行いながら、アートプロジェクト・イベントの準備や受入環境の整備、広報・誘客活動など、必要な諸準備を引き続き行う。

###### ② アートプロジェクト・イベントの準備

###### ア 重点的な取組みの推進

取組方針の「重点的な取組みの視点」に掲げる「瀬戸内の里海・里山の隠れた資源の発掘と発信」、「国内・世界とのつながりの継続、より質の高い交流への転換」、「食」の充実・強化、「持続可能な社会の実現に向けた取組みの推進」の4項目について、引き続き、地元市町や学校、関係団体と協議しながら、実施内容の検討・準備を進める。

###### イ アーティストの選定及び作品の制作

会場ごとの展開方針に従って参加作家の選定を行い、作家による現地調査などを経て、芸術祭 2022 の開幕に向けて作品の制作を行う（新型コロナウイルス感染症の状況に応じて進める）。また、作品の制作に当たっては、島民との協働や作家との交流等の機会を設ける。

###### ウ 企画発表会の開催、イベントの準備

企画発表会の開催、開会式などのイベント等の準備を進める。

###### ③ 受入環境の整備

###### ア 新型コロナウイルス感染症対策

会場の多くが離島であることを十分踏まえ、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、地元市町とも連携して、案内所や作品受付、イベント会場等で必要な対策を講じるための準備を進める。

###### イ 海上・島内交通

会場である島々へのスムーズな移動を実現するため、引き続き、既存航路の増便や臨時航路の開設について関係事業者等と協議調整を行う。また、来場者が集中しやすい時期の臨時便運航についても協議調整を行う。さらに、地元市町等と連携しながら、既存バス路線のダイヤの増便等を検討するほか、島内交通の新たな動きを注視し、来場者への分かりやすい情報提供に備える。

###### ウ 会場運営

来場者の周遊を現地でサポートする案内所の設置や、円滑な情報収集に必要なとなる無料Wi-Fiの整備、スマートフォンアプリケーションの開発など、会期中の受入環境の向上に向け、関係市町や事業者等と協議を進める。

#### ④ 広報・誘客活動

##### ア 広報活動

新型コロナウイルス感染症の影響も考慮しながら、企画発表会（本年10月頃に開催）や県外の芸術祭等でPRを行うほか、協賛企業イベントなどを活用した戦略的な情報発信を行う。公式ウェブサイトやSNS、オンライン配信を有効活用する。また、新しいデザインのポスターやリーフレットを作成（本年5月頃にメインビジュアルを発表）し、芸術祭のイメージを広く発信する。さらに、パブリシティも積極的に活用しながら、芸術祭の開催趣旨や成果、地域の自然や文化、歴史、民俗、芸術祭におけるSDGsの取組み等についても広く発信する。

##### イ 誘客活動

香川県や香川県観光協会などが実施する観光プロモーションと積極的に連携して誘客の活動を行う。また、芸術祭を組み込んだ旅行商品の造成に向けて、関係者と協議調整を行う。

#### ⑤ ボランティアサポーター

特定非営利活動法人瀬戸内こえびネットワークと連携し、ウェブサイトや勉強会等を通じてボランティアサポーター「こえび隊」の募集活動を行う。また、地元でのサポーターづくりのために、様々な層への説明会を開催するとともに、県内主要企業や県内外の大学等を訪問し、ボランティア参加の働きかけを行う。

#### ⑥ チケット・グッズ

作品鑑賞パスポートのデジタル化を進めるとともに、チケット収入を確保するため、公式ウェブサイトやSNS等を活用してPRを行うなど、販売促進に努める。また、芸術祭ならではの魅力的なグッズ等の開発・販売を行う。

#### ⑦ 寄付・協賛等

芸術祭の趣旨に賛同し、協力連携関係を築くことのできる「瀬戸内国際芸術祭パートナー」の獲得に努めるとともに、県内外の企業・団体等に対して協賛の依頼を行う。また、企業・団体による地域活性化に向けた継続的な取組みにつなげられるよう、企業・団体を対象としたフォーラムを開催する。

## **(2) ART SETOUCHIの運営**

### ① 全般

過去の芸術祭作品を「ART SETOUCHI」のアート資源として有効活用するため、新型コロナウイルス感染症への対策を講じながら、春会期（ゴールデンウィーク）、夏会期（お盆）、秋会期（シルバーウィーク）の3シーズンに集中して継続作品の公開を行い、併せて芸術祭2022関連イベントやアーティストによるワークショップ、オフィシャルツアー等を実施することで、誘客の促進と地域の活性化を推進する。

※ 新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、関係市町の意向も確認しながら、会場ごとに作品公開やイベント実施等の可否を適宜判断していく。

## ② 継続作品の公開方針等

屋外作品は常時鑑賞可能とし、また、屋内作品については、次のスケジュールにより公開することを基本とする。

### 【屋内作品の公開スケジュール（実行委員会の作品）】

春会期	4月29日～5月5日、5月8・9日 【計9日間】
夏会期	8月7～15日 【計9日間】
秋会期	9月18～20日、9月23～26日、10月2・3日 【計9日間】

※ 豊島 te10「島キッチン」と te09「あなたの最初の色」は、ベネッセアートサイト直島の施設開館日を考慮し、上記期間外でも毎週末公開。

※ 大島の作品は、個別に公開を検討。

※ 本島、高見島、粟島、伊吹島の屋内作品は、企画ツアーに合わせて一部を公開。

※ その他、作品の仕様、設置状況等により、公開方針に沿わない作品は、個別に検討。

## ③ イベント等の実施

### ア アートイベント

アーティストを交え、地域特有の資源も活用しながら、ワークショップや音楽など魅力あるイベントを開催する。イベントの内容については、芸術祭 2022 も見据えながら、芸術祭の継続作品や地域の祭り、行事等を活用し、瀬戸内の島々の魅力の継続的な情報発信や島の活性化につながるものとする。

### イ 瀬戸内アジアフォーラム

芸術祭 2019 で培ったアジアの国や地域とのネットワークや、アートや文化による地域づくりに関する対話や交流の成果を持続していくため、プレ 瀬戸内アジアフォーラムを開催する。

### ウ 島間交流事業

芸術祭の会場となった島の住民が、他の会場の住民と交流できる機会を設けることにより、各地域での地域活性化の取り組みや地域資源などについて理解を深めるとともに、住民同士がネットワークを構築し、次回の芸術祭における地域活動の参考としてもらうため、島間交流事業を実施する。

### エ 学校連携事業

未来の瀬戸内を担う若者や子どもたちが、地域の魅力や課題に触れるとともに、自分の将来について考える機会を創出するため、香川県教育委員会や香川県内の高等学校等と連携して芸術祭に関する課外活動等を実施する。

## ④ オフィシャルツアー

芸術祭 2019 で好評だったガイド・昼食付きのオフィシャルツアーを、アートやイベントだけでなく、環境、食、教育など様々なテーマに応じた企画ツアーとして適宜実施する。

## ⑤ 広報活動

「ART SETOUCHI」のポスター及びリーフレットを作成し、公式ウェブサイトやSNS、パブリシティを活用して通年化に向けた活動を広く発信するとともに、芸術祭に向けた機運の醸成を図る。

## 2 令和3年度収支予算（案）

### (1) 瀬戸内国際芸術祭開催事業費

◎ 収入 (単位：千円)

区 分	予算額	備 考
負担金	311,580	
香川県	99,750	
高松市	49,870	
丸亀市	7,350	
坂出市	7,350	
観音寺市	7,350	
三豊市	7,350	
土庄町	7,350	
小豆島町	7,350	
直島町	7,350	
多度津町	3,410	
玉野市	7,350	
福武財団	99,750	
補助金・助成金	37,241	国庫補助金
寄付金・協賛金	72,070	
チケット等販売収入	29,285	チケット前売
その他	3,144	
前年度繰越金	207,925	
収入計	① 661,245	

◎ 支出 (単位：千円)

区 分	予算額	備 考
アートプロジェクト費	131,043	
作品制作費等	127,649	
イベント運営費	3,394	
運営活動費	122,761	
広報活動費	82,332	各種PR経費、ホームページ改修費等
交通対策費	130	
会場運営費等	30,099	
事務局運営費	10,200	
チケット・グッズ等製作費	20,183	
予備費	5,000	
ART SETOUCHI運営費への繰出金	66,426	
支出計	② 345,413	

◎ 令和3年度収支差額

収支差額 (①－②)

315,832千円

(翌年度瀬戸内国際芸術祭開催事業費へ繰越)

## (2) ART SETOUCHI 運営費

### ◎ 収入

(単位：千円)

区 分	予 算 額	備 考
補助金・助成金	18,684	国庫補助金
チケット・グッズ等販売収入	4,312	
芸術祭開催事業費からの繰入金	66,426	
収 入 計	① 89,422	

### ◎ 支出

(単位：千円)

区 分	予 算 額	備 考
作品継続費	50,127	
作品管理費	21,778	継続作品の修繕等
イベント開催費等	28,349	各種イベント等開催費
運営活動費	38,295	
広報活動費	1,855	
会場運営費等	35,940	
事務局運営費	500	
予備費	1,000	
支 出 計	② 89,422	

### ◎ 令和3年度収支差額

収支差額 (①－②)

0 千円